

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103102
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホーム明和の家
所在地	鹿児島市明和5丁目1-15 (電話) 099-218-9121
自己評価作成日	令和3年2月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い駐車場があり、そこから見える桜島は雄大で、見学に来訪された方は驚かれます。裏庭には、桜の木があり満開の花を咲かせてくれるので、ホームから花見が出来ます。駐車場の入口には、みかんの木があり色づきが手に取るようにわかり、時期を見て収穫を行います。また、びわの木もあり、カラスとの争奪戦です。駐車場での散歩は楽しみの一つで、玄関エントランスでお茶を飲んだりする事もできています。広さと明るさが一番の自慢です

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは鹿児島市役所から数km離れた明和地区の小高い閑静な住宅地に平成18年に開設されており、近くには学校やスーパーマーケット、薬局、商業施設、個人住宅等が立ち並んで利便性は十分である。開設以来、地域との交流に努めており、奉仕作業やイベントへの参加、散歩時の会話、看護学生の実習や中学生の職場体験、ボランティア等を積極的に受け入れてきているが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して現在は外出による交流は自粛している。園庭の樹木剪定のボランティアの受け入れ、住民からの相談対応、看護学生への講演などは感染予防の対策を行いながら交流に取り組んでいる。

母体法人の医療機関や介護老人保健施設、同法人の8グループホームなどの事業所とは管理者会議等で情報の共有を図り、法人全体での研修も実施するなど連携が構築されている。また、協力医療機関との連携も密で、定期的な訪問診療や24時間医療連携が構築されて、利用者や家族の安心に繋がっている。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が家族や地域と繋がりがながら笑顔の絶えない、生きがいのある暮らしとなるように利用者主体の支援に日々努めている。日頃から利用者及び家族の思いや要望の把握に努め、サービスの改善に取り組んでおり、信頼関係が築かれている。

管理者は、日頃から職員と気軽に意見を言い合える信頼関係及び協力体制を構築しており、通常の業務の中やスタッフミーティング時に意見や要望を聞き取り、また、個人的事情にも配慮しながら業務やサービスの向上に努めている。日常的にケアに関する助言や指導に努め、研修の実施や資格取得へのバックアップ、休日取得に配慮して勤務シフトを作成するなど働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念の他、明和の家独自の理念を毎朝唱和し、自身のケアを振り返り、また、年間研修計画にも理念を取り入れております	3年前に全員で見直したホームの理念を法人の理念と共に玄関や会議室に掲示し、毎朝の唱和や計画的な研修で共有しており、日頃からケアの振り返りや意見交換等も行って理念に添った支援の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が地域に出る事が今はないのですが、民生委員や班長さんとの交流で地域の一員としての意識を持つようにしております	自治会に加入して回覧板や民生委員、役員から地域の情報を把握し、通常は地域の会合やイベントに参加し、散歩や買い物時には地域の人との会話を楽しみ、家族・友人の面会、施設見学、ボランティア等を積極的に受け入れるなど円滑な交流が図られているが、現在は、新型コロナウイルス感染予防のため外出やイベントへの参加は自粛し、地域の物品販売への協力や看護学生への講演、樹木剪定のボランティアの受け入れ等で交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	毎年地域への情報発信に努めて参りましたが、今年度は感染症対策で思うように実施できておりません		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度はなかなか全員揃っての開催は出来ませんでしたが、電話での情報発信に努めました	会議は定期的（年6回）に開催し、家族や民生委員、行政職員等が出席して、現況や行事、ヒヤリハット事例等の報告を行い、委員からは地域の情報等が提供されている。本年度は新型コロナウイルス感染予防に配慮して参加者を少人数にしたり、電話等で現状を伝えながら意見等を出してもらう等工夫してサービスの改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>特に生活保護課との連携は重要であり、電話や訪問する等積極的に努めております</p>	<p>介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ホームの運営や感染症予防に係る相談、生活保護受給者（3人）の支援に関する協議等を電話や窓口に出向いて行い、指導や助言をもらうなど、市の担当者とは日頃から協力関係を築いている。新型コロナウイルス感染症予防に関するオンラインによる研修にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に、毎月の研修を行ない、意識を高めております。安全の為、夜間のみ玄関の施錠は行っておりません。</p>	<p>身体拘束や高齢者虐待、権利の擁護については、委員会が主体的に施設内研修を毎月実施し、また法人全体の研修も計画的に実施されて、認識を共有している。指針を整備し、利用者主体の自由な暮らしの支援に取り組んでおり、昼間は施錠は行わず見守りや寄り添うケアに努め、不適切な言葉遣いには職員間で注意しあって改善を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待はなぜ起きるのか？一人で抱えこんでいないか等、防止に向けて職員が思いを言えるように、ミーティングでも研修を行い防止に努めております</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>年間研修計画でも必ず成年後見人制度を組み込み、当番になった人を中心に研修発表・資料配布まで責任を持ってやるようにしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	感染症対策の観点から、自由な見学はできておりませんが、見学時は、不安や疑問点を解消できてから申し込みして頂くように努めております		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	必要に応じて電話での報告を行ったり、面会時のご意見等は職員に報告しケアに活かすように努めております	利用者の思いを日頃の会話や仕草、独自のサイン等で理解し、家族からの意見、要望は面会や電話、手紙、毎月のお便り等で利用者の状況を伝えながら把握している。現在、新型コロナウイルス感染予防に配慮してイベントや家族会等は自粛しているが、家族との面会や電話等で意見や要望等を把握して運営やケアの改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設内ミーティング時に出された意見や提案は、管理者会議にて理事への報告、急を要する場合はipadや専用の携帯電話で直接意見を伝えております	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、業務の中や申し送り、ミーティング等で意見、要望等を把握し、必要に応じて個人面談も実施して改善に取り組んでいる。日頃のケアに関する助言やスキルアップを図る研修の実施、勤務シフトには個人的事情も配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。また、法人による各種手当や給与体系、外部研修受講時の経費の助成等の体制も整備されて職員の就労意欲向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	3か月に1回 稼働率の 優秀賞発表、年末には年間優秀賞を発表される事が自分たちのケアに繋がった結果であり、意欲向上に繋がっております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今年度は介護無資格・未経験者や経験の浅い職員を対象とした鹿児島市の研修案内があり、法人負担が承認されて、希望者を推薦し申し込みました</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度は特に法人内のGH間での研修（助勢）の機会が多く、意見交換にもつながりました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	感染症対策の観点から、自由な見学や、入院先や入所先での訪問が出来ませんでした。担当のケアマネの方から聞き取り等しました		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	感染症対策の観点から、自由な見学や、入院先や入所先への訪問が自由に出来ませんでした。が、ご家族に安心して頂けるように時間をかけて面談や、電話での確認を行うように致しました		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談時、施設入居以外他に手立てがないのか、何を求めているのか等、慎重に確認してから見学して頂き、申し込みをして頂きました		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	まずは本人の意向を確認し、出来る範囲を行って頂きながら、お互いの空間を大事にしております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	感染症の関係で面会制限があり、電話で話して頂いたり、交換日記をされている方もあり、共に支えられるように努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策の為、外出や面会の制限がありますが、今後も関係性維持の為に、ご家族や本人の希望を確認しながら支援に努めます	利用者毎の馴染みの情報を把握しており、通常は体調や天候に配慮しながら日常的に園庭や近辺を散歩し、家族と協力して買い物や通院、一時帰宅、外食、墓参、ドライブ等を支援しているが、現在は新型コロナウイルスの感染予防に配慮して外出は控え、家族とは、窓越しの面会やお便り、電話の取り次ぎ等で馴染みの関係を継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	蜜にならないような位置関係に注意しながら、孤立する事なく、双方が居心地の良い空間で過ごせるように、職員が付き添っております		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してからも、ご家族・本人からの電話や、他の施設に入居後も相談を頂きました		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意思決定が必ずしも安全が保障されるものではないと職員全体で判断したら、ご家族様のお力を頂く事もあります	日頃の会話や仕草、独自のサイン、小さな反応等から思いや意向を把握し、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしを家族の意向も伺いながら支援している。余暇時間も利用者の希望する趣味（新聞読み、ぬり絵他）や調理、テーブル拭き、洗濯物干し、整理等の取り組みを残存能力に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には達成感が得られるような言葉を添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメント・課題分析が不十分だと、自立した生活の継続が難しい為、より多くの情報を収集できるように努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	認知症ケアの場合 毎日同じケアが通用する事はなく、その日その日の心身状態に合わせて、出来る動作能力の支援に努めております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングにより、ケアの有効性を話し合い、ご家族様にも必要に応じて相談したり、ご意見を頂くように努めております	利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した介護計画を作成している。計画は家族にも説明して理解を得てからケアに取り組んでおり、実施状況は申し送りや日誌等で共有している。利用者の状態変化時には、実際に沿った介護計画に変更して改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや情報交換を密にし、記録に残す事で統一したケア、現状に即した介護計画書作成と見直しに努めております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態はいつも同じではない為、同じケアが通用する事はありません。その時々を思いを掘り下げながら考えて、安心できる空間作りに活かしております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域総会・地区交流会・奉仕作業等に参加し、地域の一員としての意識を持っておりましたが、今年度はすべてが取りやめになりました		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時 かかりつけ医の選択はご家族の決定となっております。希望なしの場合は、当法人が主治医となり、適切に医療が継続されるように支援致しております	本人や家族が希望する医療機関での治療を支援している。他科受診も家族と協力して通院しており、定期的な訪問診療や訪問看護も必要に応じて実施され、また、24時間医療連携の体制も構築して適正な医療が受けられており、利用者や家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の配置はないですが、必要に応じてかかりつけ病院の看護師に相談し、適切な受診や往診を受けられるように支援しております</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院が確定したらすぐに地域連携連携室との連携を図り、安心して治療を受け、早期退院に向けて関係作りに努めております</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方について、主治医・家族と連携を図りながら、事業所で出来る範囲・チームケア等をご家族に説明・同意の上、支援を致しております</p>	<p>重度化や終末期の対応については指針を整備しており、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得て意志確認書も取り交わしている。入居後は状態変化に応じて家族に説明し、重度化した時点で主治医や職員、家族で十分な話し合いを行って、可能な限り希望に添った支援に取り組んでおり、これまでも多くの看取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変時の見極め等は、受診時や往診時に、主治医・看護師からの指導を受けて、その情報を共有し、ケアの統一に努めております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎年、消防署・安全対策委員会を中心に避難訓練を行い、地域への参加を呼び掛けたりしていましたが、今年度は消防署も不参加で、自主訓練となりました</p>	<p>通常、年2回、消防署の協力を得て、夜間発生も含む火災及び風水害の防災訓練と、地すべり対応や抜き打ちの訓練で通報や避難経路を確認するなどの自主訓練（年5回以上）に取り組んでいるが、本年度は感染症予防に配慮した消防署の申し出により、自主訓練のみを実施している。消火器等の取扱いの研修も実施し、日頃から災害に関する報道を話題にして防災に対する認識を共有している。連絡網を作成し、自動通報装置やスプリンクラーが整備され、災害時の食糧や飲料水、介護用品等を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の思いを傾聴し、自分で意志決定して頂くように、プライバシー保護には特に注意を払っております	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように計画的な研修の実施やケアの振り返り等で認識を共有し、利用者の生活歴や背景、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。衣服の交換や排泄、入浴時の声掛けは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけしている	個々に自分の思いを伝えられた場合には、その思いに添えるように努めておりますが、なかなか自己決定が安全ではない事もあり、その都度説明しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先になる事が無いように、その時々に合わせて時間の過ごし方、意向を確認しながらのケアに努めております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	認知症進行により更衣の手順も理解できない方が増えており、一緒に確認しながら衣類を選択したり、鏡に映る自分に関心を持って頂いたりしております		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方が出来る事に着目し、一緒に盛り付けや、お菓子作りや、野菜の下処理等にお誘いし、不完全であっても自信を持って活動に参加できる空間作りに努めております	利用者の好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮したメニューで調理しており、利用者も日常的に食材の下処理や配膳等を楽しみながら一緒に行っている。季節の行事食や餅つき、そば打ち、手作りのおやつ、パイキング形式等、食事が楽しみとなるよう工夫しているが、新型コロナウイルスの感染予防のため外食や家族との会食等は現在自粛している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や嚥下や咀嚼力に応じた食事形態等、自分で摂取できるようにと工夫しております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアを徹底する事で、感染症予防につながると考えて、徹底したケアに努めております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	安易にポータブルトイレ使用に依存するのではなく、出来るだけトイレ誘導や、おむつの種類を昼夜で変えたり、拒否されても言葉かけを工夫したりしてその気になられるのを待つようにしております	各利用者の排泄パターンを把握し、習慣にも配慮しながら昼間は声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援している。昼夜で介護方法を変えるなど利用者に応じたケアを介護計画に反映させ、また、便秘の予防には食事や水分の摂取、運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便サイクルを常に意識しておき、食事や水分摂取量の検討を重ねて個々に応じた対策に努めております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は決して強制できるものではなく、本人がその気になられるまで人を替えながらお誘いに入力を入れております	基本週3回の入浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度、シャワー浴で清潔を維持している。予定外の入浴希望や温度、時間、習慣、同性介助等を柔軟に支援し個浴でゆっくり楽しんでもらっており、入浴をためらう利用者には、無理強いしないで時間の変更や声かけ等を工夫して、利用者自身が意欲を待てるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	どのように過ごしたいかを本人に確認し、適度な安静から褥瘡形成に至らないようにしたり、気持ちよく過ごせる空間作りに努めております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された内服については、職員全員が把握し、症状の変化等常に医師・看護師・薬剤師との連携を図り指導を頂いております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	感染症対策により外出や外泊の制限もあり、決して楽しみを持って生活出来ているとは言えませんが、季節を感じる行事に取り組む等、気分転換に努めております		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年度は年間行事計画書のような屋外活動を制限いたしました。感染症対策を取りながら、今後の外出のあり方を模索していきます	心身の状態や天候等に配慮しながら日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を楽しんでいるが、新型コロナウイルス感染予防に配慮して、家族との外出については控えてもらい、また、年間計画による地域のイベントへの参加や、全員での外出、外食等も現在は自粛して、園庭の散歩やホーム内でのレクレーションの工夫で気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在 お金の管理をできる方はおられません、感染症が落ちついたお金を使う楽しみを持てるような行事も見直して行きます</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族にお便りを書いて頂き、それに本人から返信が出来るように支援したり、居室で電話を使い会話ができるように支援致しております</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>朝陽がホール内に差し込み、まぶしすぎてカーテンを閉めないといけない時間帯もあります。静かな生活環境の中で、職員の声が不快感にならないように努めております</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすホールは明るく余裕あるスペースが確保されており、安全対策委員会が主となって動線や利便性に配慮してテーブル等を設置している。随所に活花や利用者の作品、雛人形等が飾られて和やかな雰囲気となっている。清掃や空調、衛生管理が徹底され、不快に感じる音や臭いもなく、街並みや桜島等が眺められて利用者は四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>人それぞれの過ごし方の習慣を大切にしながら、蜜になり過ぎない空間に気配りしながら、居場所の工夫を致しております</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>今は面会制限で、ご家族様が居室内の環境整備を行う機会はありませんが、本人を中心に生活を支援致しております</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、エアコン、ベッド、タンス等が利用者の状態に配慮して設置しており、意向に添って整理整頓を支援している。利用者は愛着のある使い慣れたテレビや寝具、家族写真、小物等を持ち込み自身の作品や長寿祝いの額等も飾って、居心地良く過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全対策委員会を中心に、常に動線上の安全面を考慮し、自由に空間を行き来できるように支援致しております</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない